

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
雲仙市吾妻町	牛口地区(牛口東集落、牛口西集落)	令和2年12月16日	平成31年3月28日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	22.5 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	16.7 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	4.5 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.1 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.7 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	17.4 ha

### 2 対象地区の課題

ほ場整備未済の農地は、農地に入る為の道がなく耕作条件が悪い。  
 自農地作付けの為に、隣の荒れている農地の草払いをしないといけない。  
 田川原川の体育館からの水路が古くて、漏れ等があり、水が不足している。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

この地域は、もともと漁業者が多かったために農業後継者が少ない。  
 現在の中心経営体や兼業農家の後継者を中心に、農地を集積していく。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の経営の意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
個人	18経営体	-	61.8 ha	-	79.2 ha		※経営面積は当該集落以外の経営農地も含めた面積。

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

#### 農地の貸付け等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、66筆で41,529㎡となっている。

#### 農地中間管理機構の活用方針

農地の貸し付けの際は、将来の経営農地の集約化を目指し、農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。  
 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

#### 基盤整備への取組方針

新開地区以外のほ場は、基盤整備を検討する。また、かん水設備を整備できないか検討する。

#### 鳥獣被害防止対策の取組方針

ヒヨドリはネットや糸等で対策を講じる。カモ被害が近年多くなってきたが、効果的な対策が今のところないので関係機関と研究しながら対策を講じて行く。